



ダイビル本館、中之島四季の丘

所在地：北区中之島3丁目6番32号

主用途：事務所

事業者：ダイビル株式会社、関電不動産株式会社

設計者：株式会社日建設計

〔建築概要〕

延床面積：53,030.40m²

階数：地上22階、地下2階

構造：鉄骨造 一部鉄骨鉄筋コンクリート造
鉄筋コンクリート造

工事完了：平成25年2月



外観

〔CASBEE における評価〕

サステナビリティランキング：S

建築物の環境性能効率(BEE)：3.2

〔特長〕

- ・低層部において旧ダイビル本館（大正14年竣工）の意匠を再現している。
- ・旧ビルからレンガ・石材等を取り外し、外装材として再利用している。
- ・内部空間は旧意匠の再現を行いながら、素材を活かし新しい表現との対比も意識した計画としている。
- ・高層部は石材フィンを外付けマリオンとした軽快かつ質感のあるカーテンウォールとし、太陽光をコントロールしている。
- ・ビルで使用する全ての冷温水は、河川水を利用した地域冷暖房プラントより供給している。



基壇部石材1ピースずつ
取外し再利用



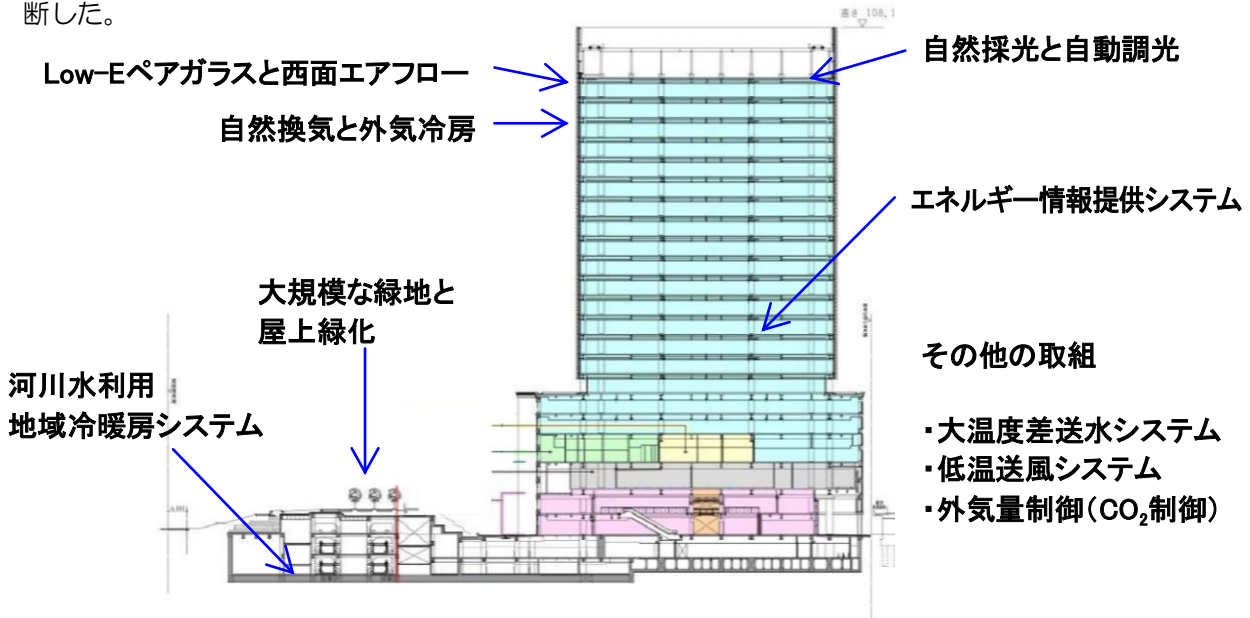
解体時レンガを一つ
一つ取外し再利用



再生したエントランスロビー

〔講評（大阪市建築物環境配慮推進委員会）〕

熱意と様々な技術・工夫により、大正時代の旧ビルの意匠を再現し、中之島の歴史的景観の継承をしながら、河川水利用地域冷暖房システム・自然採光・自動調光などの先進的な省エネ・環境配慮の取組を行っている。建築主の企業のアイデンティティとしての外観保全という強い想いに、最新の建築と設備の技術がうまく適合している点と、その姿勢が他の規範となりうる点を高く評価し、今年度の最優秀賞に相応しいと判断した。





アーバンエース五条公園パル

所在地：天王寺区烏ヶ辻2丁目10番4号

主用途：共同住宅（賃貸）

事業者：NTT都市開発株式会社

設計者：NTT都市開発株式会社、株式会社NTTファシリティーズ

〔建築概要〕

延床面積：8,221.73m²

階数：地上13階

構造：鉄筋コンクリート造

工事完了：平成25年2月

〔CASBEEにおける評価〕

サステナビリティランキング：A

建築物の環境性能効率(BEE)：2.0



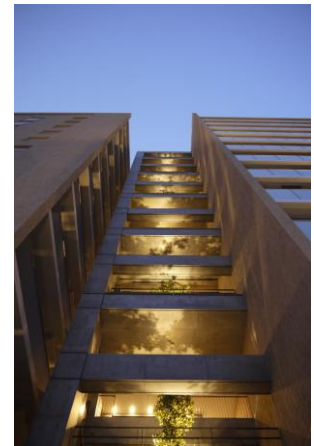
外観

〔特長〕

- ・ポケットパークにより公園と連続する緑豊かなランドスケープと、「エコスリット」により縦につながる緑のラインを形成している。
- ・各住戸はHEMSを導入し、電気・ガス・水道等、エネルギー使用量はすべて見える化している。
- ・共用部はテラコッタブロックや鋼製サッシなどを活用して、機械に頼らず季節に合わせて自然の光や風をコントロールするとともに、セキュリティや視線も制御している。
- ・屋上にはソーラーパネル(約28kW)を設置し、共用部の電力として利用し、エントランスポーチに発電量を表示することで、街に対してもエネルギーを見える化している。



エコスリット



エコスリット夜景

〔講評（大阪市建築物環境配慮推進委員会）〕

一般的に建築コストの制限が厳しい集合住宅計画において、ソーラーパネルの設置やHEMSの導入、換気スリット付きドアの採用等、合理的な計画により環境配慮がなされている点、何よりも、この建築のオリジナリティを強く主張する、独創的なアイデアであるエコスリットを高く評価し、表彰対象に相応しいと判断した。



セキュリティと採光・換気を両立するエントランスホール



太陽光による発電量を表示



グランフロント大阪（1/2）

所在地：大阪市北区大深町

主用途：事務所、店舗、ナレッジキャピタル（シアター、コンベンションなど）、ホテル、共同住宅 他

事業者：NTT都市開発株式会社、株式会社大林組、オリックス不動産株式会社、関電不動産株式会社、新日鉄興和不動産株式会社、積水ハウス株式会社、株式会社竹中工務店、東京建物株式会社、日本土地建物株式会社、阪急電鉄株式会社、三井住友信託銀行株式会社、三菱地所株式会社

設計者：株式会社日建設計+株式会社三菱地所設計+株式会社NTTファシリティーズ、株式会社大林組、株式会社竹中工務店

■うめきた広場

〔建築概要〕

延床面積：10,541.59m²

階数：地上2階、地下2階

構造：鉄筋コンクリート造、一部鉄骨鉄筋コンクリート造、一部鉄骨造

工事完了：平成25年2月

〔CASBEEにおける評価〕

サステナビリティランキング：S

建築物の環境性能効率(BEE)：3.0



外観

■南館・タワーA

〔建築概要〕

延床面積：188,076.78m²

階数：塔屋2階、地上38階、地下3階

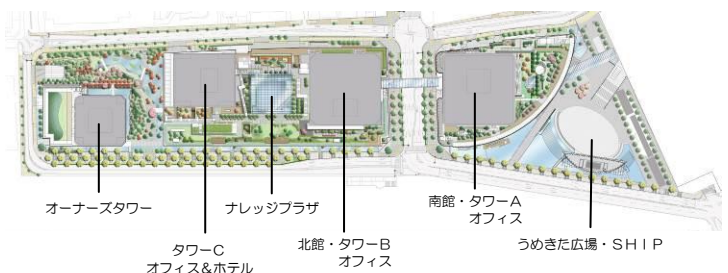
構造：鉄骨造、一部鉄骨鉄筋コンクリート造、一部鉄筋コンクリート造

工事完了：平成25年3月

〔CASBEEにおける評価〕

サステナビリティランキング：S

建築物の環境性能効率(BEE)：3.3



■北館・タワーB・タワーC

〔建築概要〕

延床面積：295,511.60m²

階数：塔屋2階、地上38階、地下3階

構造：鉄骨造、一部鉄骨鉄筋コンクリート造、一部鉄筋コンクリート造

工事完了：平成25年2月

〔CASBEEにおける評価〕

サステナビリティランキング：S

建築物の環境性能効率(BEE)：3.8

- 複数街区一体での水と緑のネットワークの整
 - ・屋上緑化
 - ・街区緑化
 - ・水景ネットワーク
- 実効性の高い省CO₂技術の採
 - ・自然換気
 - ・高効率熱源
 - ・太陽光発電
- 持続的なマネジメントシステムの
 - ・TMOによる省CO₂マネジメント活動
 - ・各街区のBEMSを一元化するネットワーク など

■グランフロント大阪オーナーズタワー

〔建築概要〕

延床面積：73,797.10m²

階数：塔屋2階、地上48階、地下1階

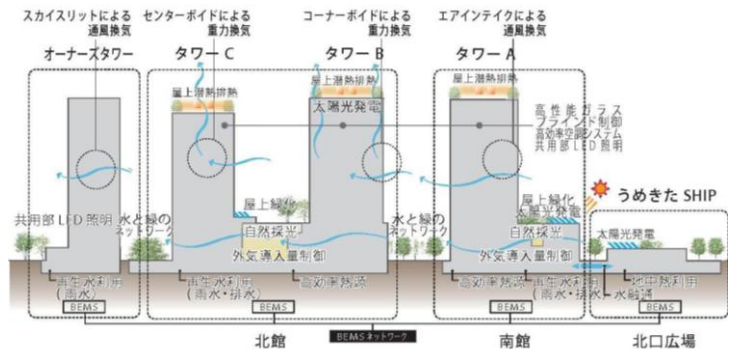
構造：鉄筋コンクリート造、一部鉄骨鉄筋コンクリート造、一部鉄骨造、免震構造

工事完了：平成25年3月

〔CASBEEにおける評価〕

サステナビリティランキング：S

建築物の環境性能効率(BEE)：3.2





グランフロント大阪（2/2）



左/北館西側のコリ
ドールとせせら
ぎのみち

下左/うめきた広場の
地階に光を導く
カスケード

下右/ホテルとタワー
マンションの間
に位置する「ザ・
ガーデン」



上/北館「ナレッジプラザ」は天
空光による自然採光、テナン
ト空調排気再利用、居住域空
調、トップライト排気（夏）、
同デリバントファンによる暖
気吹下し（冬）を行っている。

右/南館導入部（グランフロント
大阪玄関口）は半屋外空間と
し、空調エリア・外部風のバ
ッファーゾーンとしての役目
を持たせてある。



〔特長〕

- ・「水と緑とにぎわいの系」を基軸テーマとした「街歩きが楽しいまちをつくる」事を目指し、すべての街区計画を調整出来る利点を活かして「まち全体に調和のとれた機能とデザインを持たせること」を重視した計画とした。
- ・4つの街区を一体的に開発するメリットを活かし、TMO（タウンマネジメント・オーガナイゼーション）を設立し、継続的な省CO₂を目指した活動を推進していくこととしている。
- ・建築計画において、機能やデザイン面で工夫した「パッシブ手法」や、実効性の高い「アクティブ技術」を積極的に導入し、ソフト・ハードの両側面において、「環境ショーケース」となりうるものを目指した。
- ・複数街区での一体的な水景・緑化計画によるヒートアイランド対策を行っている。



左/タワーAのエアインテイク（採風口。ここから外
気を室内に導入・排出するクロスベンチレーシ
ョンタイプの自然換気システムを導入している）の
外観とタワーBのコーナーボイドの外観

右上/タワーBの重力換気排気風道であるコーナーボ
イドの内観

右下/夜間は自然換気の仕組みをライトアップする。

〔講評（大阪市建築物環境配慮推進委員会）〕

スケールの大きい計画の中で要所に配慮を施し、積極的な取組が行われている。機械に頼らず自然換気を取り入れた空調システムが構築され、また、空調排熱を屋上部に集中させてヒートアイランド現象を抑制している点、太陽光・地中熱など自然エネルギーの活用に対する積極的な取組が見られる点、そして地区全体に水と緑の空間を提供している点を高く評価し、表彰対象に相応しいと判断した。



CASBEE大阪 OF THE YEAR 2013 表彰建築物 商業施設その他部門賞

イオンモール大阪ドームシティ

所在地：西区千代崎3丁目13番1号ほか

主用途：店舗、駐車場

事業者：イオンリテール株式会社

設計者：株式会社大林組

〔建築概要〕

延床面積：76,454.25m²

階数：地上5階、地下1階

構造：鉄骨造

工事完了：平成25年3月

〔CASBEEにおける評価〕

サステナビリティランキング：S

建築物の環境性能効率(BEE)：3.0



外観

〔特長〕

- ・「防災型エコストア」として、広域防災拠点である京セラドーム大阪と連携した災害時の避難場所・物資供給基地としての防災機能を確保している。
- ・ガスコージェネ設置による通常時の熱効率アップと地冷への熱融通、災害時のエネルギー確保を図っている。
- ・阪神・地下鉄駅の出入口前に、地域の憩いの場となる緑豊かな多目的広場を設けている。
- ・外構にはチョウや野鳥のえさとなる植物を植栽し、また野鳥の水場や巣箱を設置することにより、野生生物の生育環境を整備している。
- ・「防災型エコストア」への取組を地域居住者や来店者に情報発信するインフォメーションコーナーを設けている。



野鳥の水場や巣箱を設けた多目的広場

〔講評（大阪市建築物環境配慮推進委員会）〕

「防災型エコストア」というコンセプトのもと、地域冷暖房・防災機能確保等、様々な工夫をこらした取組を行っており、なかでも来店者向けの環境意識啓発用看板・サインは周辺地域への波及効果が期待され、積極的な取組姿勢として評価できる。地域防災拠点としての商業施設という新たな建築の役割の創造が、他の規範となる点を高く評価し、表彰対象に相応しいと判断した。



防災とエコのインフォメーションコーナー



環境意識啓発用サイン



新 大阪暁明館病院

所在地：大阪市此花区西九条5の4の8

主用途：病院

事業者：社会福祉法人大阪暁明館

設計者：株式会社フジタ

〔建築概要〕

延床面積：22,654.90m²

階数：地上11階、塔屋1階

構造：柱 鉄筋コンクリート造一部鉄骨造、
梁 鉄骨造

工事完了：平成25年1月



外観

〔CASBEE における評価〕

サステナビリティランキング：A

建築物の環境性能効率(BEE)：1.6

〔特長〕

- ・ 建物の配置計画は、南側の公園を囲いこむように105度を開き、訪れる人々をアーチ状に柔らかく受け止める形態としている。
- ・ エントランスホールから中央ホールまでを一体化した、3層吹抜け空間を設け、明るさと開放性を演出している。
- ・ 自動追尾式の集光装置や光庭の設置など、自然光の取り入れに配慮している。
- ・ 一部のスポット照明を除き全館LED化を実現している。
- ・ 停電時の最低限の生命維持機能の確保として、太陽光発電と自家発電機を設置している。



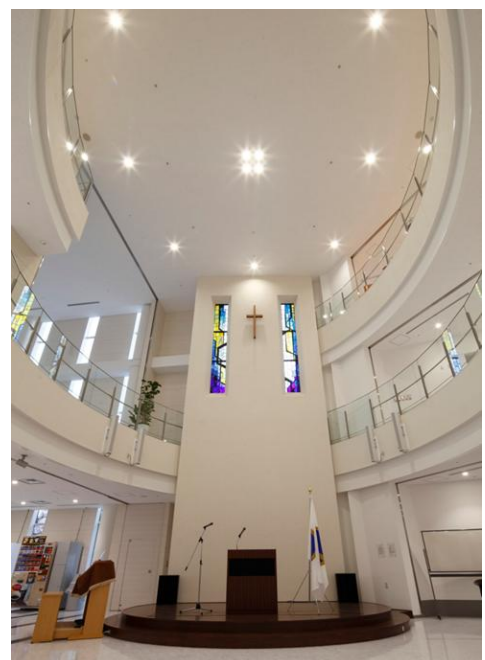
光庭

〔講評（大阪市建築物環境配慮推進委員会）〕

光庭（光ダクト）と集光装置を組み合わせるなど、自然光を積極的に取り入れたことと、周辺環境を生かした建物配置や広々としたエントランス・地域に開かれた中央ホール・石碑の保存など近隣への配慮は評価できる。病院という、従来、コスト制限の非常に厳しい建築における積極的な取組を高く評価し、表彰対象に相応しいと判断した。



エントランスホール



中央ホール